

第11次静岡県職業能力開発計画の進捗状況について

中柱	令和4年度				施策の方向性 ・ 令和5年度取組																																																																		
	取 組		主な取組の評価・課題																																																																				
(4) 多様な人材が能力を發揮できる環境づくり	<p>【離職者・転職者を対象とした職業能力開発】</p> <ul style="list-style-type: none"> 工科短期大学校及び浜松技術専門校の設備を活用して離職者訓練を行うとともに、求人・求職ニーズに合った訓練を民間教育機関等に委託して実施した。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th style="width: 15%;">管理指標</th> <th style="width: 15%;">11次目標</th> <th style="width: 15%;">策定時</th> <th style="width: 15%;">R4実績</th> </tr> <tr> <td>離職者訓練受講生の就職率</td> <td>80%以上</td> <td>72.8%</td> <td>72.1%</td> </tr> </table>				管理指標	11次目標	策定時	R4実績	離職者訓練受講生の就職率	80%以上	72.8%	72.1%	<p>＜評価＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度の離職者訓練受講生の就職率は72.1%（696人/965人）で、目標値である80%を下回った。 令和4年度の離職者訓練受講生の訓練に関連した就職割合は、81.6%となった。 <p>＜課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 就職率や定員充足率の低い訓練を検証・改善し、効果的な訓練を実施していく必要がある。 	<p>＜施策の方向性＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 雇用のセーフティネットとして必要なコース数・定員数の確保を図るとともに、多様で効果的な質の高い職業訓練を提供し、訓練修了後早い時期での就職率の向上を目指す。 <p>＜具体的な取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 静岡県労働局と共催する「地域職業能力開発促進協議会」において訓練効果の検証、ニーズに合った訓練コースの検討を行う。 雇用の受け皿として期待されるデジタル分野の訓練や、人材不足分野である介護系の訓練を実施する。 																																																									
	管理指標	11次目標	策定時	R4実績																																																																			
	離職者訓練受講生の就職率	80%以上	72.8%	72.1%																																																																			
<p>【女性のものづくり系職種への促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年4月に開校した静岡県立工科短期大学校の施設には、女性が入学しやすい環境を整備した。 工科短期大学校パンフレットやホームページに女性技術者の活躍イメージを掲載している。 女性が多く在籍している高校にも積極的に訪問し、女性の応募者増加に向けた広報を実施している。 工科短期大学校2年生女子学生の実習風景やインタビューを撮影し、YouTubeで配信した。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th style="width: 15%;">管理指標</th> <th style="width: 15%;">11次目標</th> <th style="width: 15%;">策定時</th> <th style="width: 15%;">R4実績</th> </tr> <tr> <td>工科短期大学校・浜松技術専門校（若年者訓練）女性の入校生の割合</td> <td>10%以上</td> <td>3.9%</td> <td>7.8%</td> </tr> </table>				管理指標	11次目標	策定時	R4実績	工科短期大学校・浜松技術専門校（若年者訓練）女性の入校生の割合	10%以上	3.9%	7.8%	<p>＜評価＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度の女性入校生は、工科短期大学校10人（入校生118人中）、浜松技術専門校1人（入校生23人中）と女性の入校生の割合は7.8%となった。 目標値10%には達していないが、工科短期大学校においては、沼津・清水技術専門校（令和2年度入校生数66人中、女性入校生3人）に比べて7人増加（3.3倍）した。 <p>＜課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性に向けた広報を強化するため、工科短期大学校パンフレットに女性学生のインタビューを掲載するなど、受験生に女性が活躍しているイメージが伝わるようにさらに工夫する必要がある。 	<p>＜施策の方向性＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ものづくりは、女性の感性を現場に活かすことができ、やりがいのある職業であることを女性や企業に理解してもらう取組を行い、工科短期大学校や浜松技術専門校への入校促進につなげる。 <p>＜具体的な取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 工科短期大学校パンフレットの写真や在学生・指導員のインタビューなど、男女比が偏らないようにして、受験生に女性が活躍しているイメージがより伝わりやすいようにした。 																																																										
管理指標	11次目標	策定時	R4実績																																																																				
工科短期大学校・浜松技術専門校（若年者訓練）女性の入校生の割合	10%以上	3.9%	7.8%																																																																				
<p>【障害のある人の就労支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> 障害のある方の就職率向上のため、企業実習付き職業訓練や事業主委託訓練を実施した。 <p>[障害のある人に対する委託訓練]</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th style="width: 15%;">種 別</th> <th style="width: 85%;">内 容</th> </tr> <tr> <td>企業実習付訓練</td> <td>座学と企業実習を組み合わせた集合訓練</td> </tr> <tr> <td>事業主委託訓練</td> <td>企業に委託して行う実習主体の職業訓練</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 工科短期大学校・浜松技術専門校・あしたか職業訓練校の指導員及び障害者訓練コーチ・コーディネーターによる訓練受託企業の開拓、就職に向けた支援を実施した。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th style="width: 15%;">管理指標</th> <th style="width: 15%;">11次目標</th> <th style="width: 15%;">策定時</th> <th style="width: 15%;">R4実績</th> </tr> <tr> <td>訓練修了後一般企業への就職</td> <td>80%以上</td> <td>64.4%</td> <td>79.2%</td> </tr> <tr> <td>アビリンピック全国大会への参加者数</td> <td>15人以上</td> <td>13人</td> <td>12人</td> </tr> </table>				種 別	内 容	企業実習付訓練	座学と企業実習を組み合わせた集合訓練	事業主委託訓練	企業に委託して行う実習主体の職業訓練	管理指標	11次目標	策定時	R4実績	訓練修了後一般企業への就職	80%以上	64.4%	79.2%	アビリンピック全国大会への参加者数	15人以上	13人	12人	<p>＜評価＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度は、就職に結びつきやすい事業主委託訓練の就職率が例年に比べて高かったことから、訓練修了後の一般企業への就職率は前年度より上昇した。 <p>[障害者委託訓練の実施状況]</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">コース名</th> <th style="width: 10%;">区分</th> <th style="width: 10%;">R元</th> <th style="width: 10%;">R2</th> <th style="width: 10%;">R3</th> <th style="width: 10%;">R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">企業実習付訓練 (座学+企業実習)</td> <td>受講者数</td> <td>53人</td> <td>54人</td> <td>37人</td> <td>35人</td> </tr> <tr> <td>修了者数</td> <td>40人</td> <td>47人</td> <td>34人</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>就職者数</td> <td>22人</td> <td>20人</td> <td>8人</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>就職率</td> <td>55.0%</td> <td>40.8%</td> <td>23.5%</td> <td>56.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">事業主委託訓練 (企業での職場実習)</td> <td>受講者数</td> <td>76人</td> <td>60人</td> <td>66人</td> <td>49人</td> </tr> <tr> <td>修了者数</td> <td>64人</td> <td>51人</td> <td>57人</td> <td>45人</td> </tr> <tr> <td>就職者数</td> <td>52人</td> <td>45人</td> <td>50人</td> <td>43人</td> </tr> <tr> <td>就職率</td> <td>81.3%</td> <td>88.2%</td> <td>86.2%</td> <td>91.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>＜課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 就職率の低い企業実習付訓練の効果を検証・改善し、就職率を高めていく必要がある。 障害特性や就職希望に応じた訓練を実施するため、事業主委託訓練の訓練受け入れ先の一層の開拓が必要である。 企業や一般の人々の、障害のある方への理解と認識を深め、雇用の促進を図るため、アビリンピック静岡大会や全国大会への参加を奨励していく必要がある。 	コース名	区分	R元	R2	R3	R4	企業実習付訓練 (座学+企業実習)	受講者数	53人	54人	37人	35人	修了者数	40人	47人	34人	25人	就職者数	22人	20人	8人	14人	就職率	55.0%	40.8%	23.5%	56.0%	事業主委託訓練 (企業での職場実習)	受講者数	76人	60人	66人	49人	修了者数	64人	51人	57人	45人	就職者数	52人	45人	50人	43人	就職率	81.3%	88.2%	86.2%	91.5%	<p>＜施策の方向性＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 障害のある方の就職促進による職業的自立と社会参加を促進するために、障害のある方の障害特性や就職希望に応じた訓練を推進する。 <p>＜具体的な取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 障害者雇用推進コーディネーターと障害者職業訓練コーチ・コーディネーターの連携を強化し、訓練受け入れ企業を開拓する。 アビリンピック参加者の裾野拡大に向けて、特別支援学校や企業に対する広報を強化する。
種 別	内 容																																																																						
企業実習付訓練	座学と企業実習を組み合わせた集合訓練																																																																						
事業主委託訓練	企業に委託して行う実習主体の職業訓練																																																																						
管理指標	11次目標	策定時	R4実績																																																																				
訓練修了後一般企業への就職	80%以上	64.4%	79.2%																																																																				
アビリンピック全国大会への参加者数	15人以上	13人	12人																																																																				
コース名	区分	R元	R2	R3	R4																																																																		
企業実習付訓練 (座学+企業実習)	受講者数	53人	54人	37人	35人																																																																		
	修了者数	40人	47人	34人	25人																																																																		
	就職者数	22人	20人	8人	14人																																																																		
	就職率	55.0%	40.8%	23.5%	56.0%																																																																		
事業主委託訓練 (企業での職場実習)	受講者数	76人	60人	66人	49人																																																																		
	修了者数	64人	51人	57人	45人																																																																		
	就職者数	52人	45人	50人	43人																																																																		
	就職率	81.3%	88.2%	86.2%	91.5%																																																																		

第 11 次静岡県職業能力開発計画の進捗状況について

中柱	令和4年度			施策の方向性 ・ 令和5年度取組											
	取 組	主な取組の評価・課題													
(4) 多様な人材が能力を發揮できる環境づくり (つづき)	<p>【外国人の就労支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国人技能実習生が本県に定着して技能を習得できるよう、技能検定基礎級に対応した日本語研修や3級実技試験対策のための動画教材作成・配信を実施した。 定住外国人の正社員就職を促すため、日本語能力等に配慮した職業訓練を実施した。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #f4a460;">管理指標</th> <th style="background-color: #f4a460;">11 次目標</th> <th style="background-color: #f4a460;">策定時</th> <th style="background-color: #f4a460;">R4 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>技能実習生の技能検定基礎級合格率</td> <td style="text-align: center;">90%以上</td> <td style="text-align: center;">85.9%</td> <td style="text-align: center;">81.5%</td> </tr> <tr> <td>定住外国人訓練の受講者数</td> <td style="text-align: center;">100 人</td> <td style="text-align: center;">58 人</td> <td style="text-align: center;">28 人</td> </tr> </tbody> </table>	管理指標	11 次目標	策定時	R4 実績	技能実習生の技能検定基礎級合格率	90%以上	85.9%	81.5%	定住外国人訓練の受講者数	100 人	58 人	28 人	<p><評価></p> <ul style="list-style-type: none"> 技能実習生の技能検定基礎級合格率は横ばいで推移している。 定住外国人訓練の令和4年度の受講者数は、受託者なしや応募者減少による訓練中止の影響もあり、3コース28人にとどまった。 海外高度人材合同面接会を開催した。 (モンゴル11月、インドネシア1月、ベトナム2月) モンゴル面接会 参加企業9社、面談者72人、内定者13人 インドネシア面接会 参加企業8社、面談者73人、内定者15人 ベトナム面接会 参加企業12社、面談者34人、内定者12人 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 技能実習生が本県に定着して技能を修得できるよう、支援を継続していく必要がある。 技能実習や特定技能制度による外国人労働者の受入れを希望する県内企業等を支援する必要がある。 ハローワークや行政の窓口を利用していない方々へ職業訓練を周知する必要がある。 	<p><施策の方向性></p> <ul style="list-style-type: none"> 県内企業の国際展開を推進するため、グローバル人材の育成・確保を目指し、海外進出や外国人労働者の受入に関して企業を支援していく。 <p><具体的な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> 日本語研修等を通じて引き続き外国人技能実習生の本県定着を支援するとともに、企業等に外国人材と地域との共生の取組事例を紹介し、多文化共生の地域づくりを進める。 日本語研修の受講者拡大のため、どこでも受講可能で交通費用が発生しないオンライン研修について積極的な活用を促す。 海外高度人材の受入れを促進する。 (モンゴル、インドネシア、ベトナム、インド) 求人数が多く外国人についても求人開拓が期待できる介護系や、今後需要が見込まれる観光系の訓練を実施する。 定住外国人訓練の受講者確保のため、支援団体や入国管理局等と連携し、定住外国人のコミュニティ等へアプローチを強化する。
管理指標	11 次目標	策定時	R4 実績												
技能実習生の技能検定基礎級合格率	90%以上	85.9%	81.5%												
定住外国人訓練の受講者数	100 人	58 人	28 人												

第 11 次静岡県職業能力開発計画の進捗状況について

中柱	令和4年度			施策の方向性 ・ 令和5年度取組											
	取 組	主な取組の評価・課題													
(5) ライフコースの多様化に対応した職業能力の開発	<p>【若者が職業観を醸成する機会の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小中学校等で技能士の指導のもとでひとつのものを作り上げる体験教室「WAZA チャレンジ教室」を実施した。(再掲) 小中高校で静岡県技能マイスターが職業観やものづくりの素晴らしさを語る出前講座を実施した。(再掲) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">管理指標</th> <th style="width: 15%;">11次目標</th> <th style="width: 15%;">策定時</th> <th style="width: 15%;">R4実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>WAZA チャレンジ教室参加者数</td> <td>毎年度 2,400人</td> <td>1,926人</td> <td>2,182人</td> </tr> <tr> <td>職場見学や職場体験、社会人講話等の活動を実施した高等学校の割合</td> <td>100%</td> <td>81.4%</td> <td>99.1%</td> </tr> </tbody> </table>	管理指標	11次目標	策定時	R4実績	WAZA チャレンジ教室参加者数	毎年度 2,400人	1,926人	2,182人	職場見学や職場体験、社会人講話等の活動を実施した高等学校の割合	100%	81.4%	99.1%	<p><評価></p> <ul style="list-style-type: none"> 「WAZA チャレンジ教室」は令和2年度実績が1,926人に対して令和4年度実績が2,182人と増加傾向にあり、「ものづくり」に触れる機会を提供できている。(再掲) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度はキャリア教育においても学校外との連携が縮小され81.4%の実績となっていたが、勤労観・職業観の醸成の主な取組でもあるインターンシップの実施率も回復傾向にあるなど、キャリア教育に関する外部との連携が再開され、令和4年度は99.1%の実施率まで回復した。また、外部連携を重視した、各高校における探求的な学習の拡大も影響している。(再掲) <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も子どもたちに「ものづくり」に触れる機会を広く提供していくため、「WAZA チャレンジ教室」の実施場所を拡大していく必要がある。(再掲) A・I・O・T等のデジタル技術の進展や企業におけるDXの加速等により、産業構造は急速に変化しており、広汎な職業能力の開発という観点からは、デジタル分野に対応したメニューの実施を検討する必要がある。(再掲) 今後は、「普通高校（進学校）におけるキャリア教育の充実」、「希望する職種の仕事等確保」、「指導時間、指導者の確保」、「インターンシップの事前・事後指導の充実」が課題として挙げられる。産業界と連携し、各高等学校において生徒のニーズに合わせた取組を進めていく。また、オンラインでの実施や大規模な感染症拡大等を想定した「新しい生活様式」を実践した実施方法等も検討していく必要がある。(再掲) 	<p><施策の方向性></p> <ul style="list-style-type: none"> 優れた技能者の指導を受けながら「ものづくり」に触れる体験を通じ、ものづくりの楽しさや喜びを伝える。(再掲) 産業構造の急速な変化を踏まえ、電子工作やプログラミング等の情報処理技術を体験する機会を設ける。(再掲) 児童や生徒が、学校の授業だけでなく、実際に職場を見学したり、インターンシップに参加したりするなど、実際に企業等を見て、体験することにより勤労観や職業観を養う。(再掲) <p><具体的な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> 民間企業や公共施設との連携を進め、「WAZA チャレンジ教室」の学校外での実施を拡大して事業の裾野を広げていく。(再掲) 情報処理技術を体験するための「デジチャレンジ教室」を新設し、学校やイベント会場等で、電子工作キットやプログラミングカーリング等を教材とした体験教室を実施する。(再掲) 教員の県内企業の魅力・実力への理解を深めるため、教員企業研究会を関係部局と連携して開催する。(再掲) 企業等へ、インターンシップに対する事業理解を求め、受け入れ企業等の安定した確保とアフターコロナにおけるインターンシップの促進を行う。(再掲)
管理指標	11次目標	策定時	R4実績												
WAZA チャレンジ教室参加者数	毎年度 2,400人	1,926人	2,182人												
職場見学や職場体験、社会人講話等の活動を実施した高等学校の割合	100%	81.4%	99.1%												
	<p>【若者が職業訓練を通して職業能力を高める機会の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高校訪問、進路担当者説明会、オープンキャンパスや高校の個別見学会、進路ガイダンスへの参加など応募者増加に向けた広報を実施している。(再掲) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">管理指標</th> <th style="width: 15%;">11次目標</th> <th style="width: 15%;">策定時</th> <th style="width: 15%;">R4実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工科短期大学の定員充足率</td> <td>100%</td> <td>92.3%</td> <td>90.8%</td> </tr> </tbody> </table>	管理指標	11次目標	策定時	R4実績	工科短期大学の定員充足率	100%	92.3%	90.8%	<p><評価></p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度工科短期大学校入学者は118人と定員充足率90.8%となった。(令和3年度は120人、定員充足率92.3%) (再掲) <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 少子化が進展する中での志願者・入学者の確保 学校基本調査では、静岡県内高校全日制3年生在学者数は、令和3年度29,834人、令和4年度29,227人、令和5年度は27,846人と2年間で1,988人減少している。(再掲) 進路選択時期が早期化（オープンキャンパス参加者のうち高校1・2年生の参加者の割合は、令和3年度23%、令和4年度30%）しており、志願者数増加を目指すのに高校1・2年生に向けた広報強化が必要である。(再掲) 	<p><施策の方向性></p> <ul style="list-style-type: none"> グローバル化や科学技術の進展による大きな変化に対応できる人材を育成するため、清水技術専門校と沼津技術専門校の教育内容を高度化し、令和3年4月に静岡県立工科短期大学校（静岡キャンパス・沼津キャンパス）を開校した。(再掲) 生産現場のリーダーとなる人材を育成するため、時代に合わせて高度化した教育・訓練を実施している。(再掲) <p><具体的な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> オープンキャンパスを5月から翌年3月まで、各キャンパス8回開催し、各科の体験授業を受講できるようにするとともに、高校1・2年生の参加も推奨する。(再掲) 県内高校の個別見学会を開催し、工科短期大学校の高校生への周知を図る。(再掲) 大学フェアに参加し、受験生やその保護者への周知を図る。(再掲) 県内高校や隣接県高校を訪問し、周知を図る。(再掲) 受験生の保護者をターゲットとしたWeb広告を実施する。(再掲) 				
管理指標	11次目標	策定時	R4実績												
工科短期大学の定員充足率	100%	92.3%	90.8%												

中柱	令和4年度				施策の方向性 ・ 令和5年度取組					
	取組		主な取組の評価・課題							
(5) ライフコースの多様化に対応した職業能力の開発(つづき)	【在職者がICTスキルを高める機会の提供】 ・デジタル化に対応できる人材を育成するため、工科短期大学校等で、デジタル技術や成長産業分野に対応した在職者訓練(3DCAD/CAM/CAE、5軸等のマシニングセンタ、IoT、ロボット、シーケンス制御など)を実施した。(再掲)				＜評価＞ ・令和4年度から、デジタル化等関連分野の在職者訓練を拡充し、「デジタル化等関連分野訓練受講者数の割合」は、令和3年度の16.9%から令和4年度19.7%と、令和4年度の期待値27.1%を下回ったが、増加傾向にある。(再掲) ＜課題＞ ・企業ニーズに応じて、非デジタル化訓練の見直しやデジタル化訓練の新規設定を継続していく必要がある。(再掲) ・企業や在職者に対して、スキルアップ機会の提供を図るとともに、効果的な広報を行っていく必要がある。(再掲)					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>管理指標</th> <th>11次目標</th> <th>策定時</th> <th>R4実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>在職者訓練におけるデジタル化等関連分野訓練受講者数の割合</td> <td>50%</td> <td>15.6%</td> <td>19.7%</td> </tr> </tbody> </table>	管理指標	11次目標	策定時		R4実績	在職者訓練におけるデジタル化等関連分野訓練受講者数の割合	50%	15.6%	19.7%
管理指標	11次目標	策定時	R4実績							
在職者訓練におけるデジタル化等関連分野訓練受講者数の割合	50%	15.6%	19.7%							
(5) ライフコースの多様化に対応した職業能力の開発(つづき)	【離転職する方が職業能力を高める機会の提供】 ・工科短期大学校及び浜松技術専門校の設備を活用して離転職者訓練を行うとともに、求人・求職ニーズに合った訓練を民間教育機関等に委託して実施した。(再掲)				＜評価＞ ・令和4年度の離転職者訓練受講生の就職率は72.1%(696人/965人)で、目標値である80%を下回った。(再掲) ・令和4年度の離転職者訓練受講生の訓練に関連した就職割合は、81.6%となった。(再掲) ＜課題＞ ・就職率や定員充足率の低い訓練を検証・改善し、効果的な訓練を実施していく必要がある。(再掲)					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>管理指標</th> <th>11次目標</th> <th>策定時</th> <th>R4実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>離転職者訓練受講生の就職率</td> <td>80%以上</td> <td>72.8%</td> <td>72.1%</td> </tr> </tbody> </table>	管理指標	11次目標	策定時		R4実績	離転職者訓練受講生の就職率	80%以上	72.8%	72.1%
管理指標	11次目標	策定時	R4実績							
離転職者訓練受講生の就職率	80%以上	72.8%	72.1%							